

素敵な街「三原」にするために

わたしたちの小学校では、五・六年生が協力して、毎年「三原を元気にしよう」というテーマで活動を行っています。今年も、八天堂さんに協力してもらい、新商品の開発を行っています。

その中で一番大切なことは、新商品を開発し販売することで三原をどのように元気にしていくかということです。「食べた人が笑顔になってほしい。」「三原に興味をもってもらいたい。」「将来三原に住みたいと思っほしい。」「三原に色んな意見がでました。わたしは、「自分たちで考えた商品を食べた人が、笑顔になり、元気になってほしい。」と思っています。そのために、果物について調べ、栄養価の高いキウイフルーツを使ったプリンを考えています。食べた人が食感を楽しめるように上にかけるソースにキウイフルーツの種を入れたり、すっぱいグリーンキウイと甘いゴールドキウイを混ぜて甘酸っぱい味になるようにしたりするなどの案がでています。このプリンを市内に住んでいる子どもたちに食べてもらい、元気なってもらいたいと考えています。

わたしは、八天堂さんに協力をしてもらって商品開発以外にも、三原を元気にする方法はたくさんあると思います。街に落ちていたゴミを拾ったり、あいさつ運動をしたりするなどです。だから、普段から意識し、積極的に行動していきたいと思っています。三原のことを好きな人が増え、三原がもっと活気あふれる素敵な街になるように自分のできることを探して、取り組んでいきたいです。そして将来、三原のためになるような仕事をしてみたいと思っています。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第47回 —

三原と私達

私達、三原小学校6年生は総合的な学習の時間で、三原市の人口減少について、グループに分かれ、学習に取り組んでいます。人口について考えたことがなかったので面白い学習だと思っています。取り組んでいる内容は、①三原に入ってくる人を増やす②三原から出ていく人を減らす③三原で生まれてくる人を増やす④三原で亡くなる人を減らすという4つです。この4つの対策を考えて活動しています。

9月には、三原市役所の広報戦略課の方とリモートでつながり、お話を伺いました。広報戦略課の方は主に三原市の公式ラインアカウントの配信や『広報みはら』の配布など様々な取り組みをされていました。お話の中で、広報戦略課の方は、「三原市の一番の魅力は『人』です。」と話されていました。広報戦略課の方も、私達も、三原を思う気持ちは同じだと分かりました。

私は、三原に入ってくる人を増やすために「お試し移住プラン」という一大事業を実際に行えるように取り組んでいると思っています。この「お試し移住プラン」は、家などの生活に必要なものは提供してもらえて、1週間、試しに三原に住んでもらうものです。1週間の間に三原に住んでもらい、良いところを感じてもらって、その後、三原に定住する、という流れで、人数は一人から受け付けます。この取り組みをすることで三原に入ってくる人も増え、空き家の数も減って一石二鳥だと考えています。

私は三原市に住んでいる方や三原市役所の方などに、この一大事業に協力してもらい、もっと三原市を全世界の人たちにPRできればいいなと思っています。三原に一人でも多くの人が訪れてくれると嬉しいです。

